

令和4年  
第1回  
評議員会会議録

3月29日(火)

国立市土地開発公社

## 令和4年 第1回 国立市土地開発公社評議員会会議録

1. 開催日 令和4年3月29日(火)

2. 場所 国立市議会 委員会室

3. 出席者

(1) 評議員 10名

会長	石井伸之	青木淳子
	高柳貴美代	遠藤直弘
	関口博	古濱薫
	高原幸雄	柏木洋志
	香西貴弘	石井めぐみ

(2) 理事 7名

理事長	竹内光博	副理事長	雨宮和人
出納理事	宮崎宏一	常務理事	門倉俊明
理事	藤崎秀明	理事	大川潤一
理事	黒澤重徳		

(3) 事務局 3名

事務局長	立川浩平	庶務係長	川島寛史
庶務係員	餅茉里子		

4. 議題

協議事項1	令和3年度国立市土地開発公社補正予算(第1号)案
協議事項2	令和4年度国立市土地開発公社事業計画案
協議事項3	令和4年度国立市土地開発公社予算案

5. 会議時間 開会 午前10時00分  
閉会 午前10時25分

議長 (石井伸之君)

おはようございます。

本日は国立市土地開発公社評議員会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

令和4年3月31日をもって、当公社門倉常務理事と江村理事、内藤監事が退任を迎えられます。旧国鉄清算事業団跡地の取得、駐車場としての暫定利用、高架化工事を経て、市の買戻しにより、国立駅周辺まちづくりが大きく前に進みました。3名の方には、当公社の適正な運営に向けてご尽力をいただき、心より感謝を申し上げます。長年のご尽力に対して、心から感謝を申し上げ、会長より一言挨拶をさせていただきます。誠にありがとうございました。

評議員の皆様におかれましては、季節の変わり目ということもありますので、お体に十分ご留意くださいますよう、お願いいたします。

それでは、これより評議員会を進めさせていただきます。

ただいまの出席評議員は10名でございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから令和4年第1回国立市土地開発公社評議員会を開会いたします。

日程第1「会議録署名評議員の指名について」を議題といたします。

議長において、「遠藤評議員」と「香西評議員」の両名を指名することにご異議ございませんか。

((異議なし)との声あり。)

ご異議なしと認め、「遠藤評議員」と「香西評議員」の両名を指名いたします。

続いて、日程第2「会期の決定について」を議題といたします。

会期を本日一日とすることにご異議ございませんか。

((異議なし)との声あり。)

ご異議なしと認め、会期を本日一日といたします。

日程第3「理事長挨拶」でございます。

理事長、よろしく申し上げます。

理 事 長

(竹 内 光 博 君)

おはようございます。

本日は、国立市土地開発公社評議員会を招集しましたところ、皆様におかれましては、お忙しい中にもかかわらず、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日ご協議いただきますのは、国立市土地開発公社の令和3年度補正予算案、令和4年度事業計画案及び予算案でございます。

まず、令和3年度予算におきましては、不用額の減額補正を提案させていただきます。

また、令和4年度事業計画案及び予算案につきましては、保有用地の管理に係る費用等を計上させていただきます。

以上、協議事項の概要を申し上げましたが、詳しい内容につきましては、事務局から説明いたしますので、よろしくご協議のほどをお願い申し上げます。

終わりに、皆様には更なる当公社へのご支援、ご協力をお願い申し上げます、私の挨拶といたします。

ありがとうございました。

議 長

(石 井 伸 之 君)

ありがとうございました。

それでは、日程第4 議題に入ります。なお、議事の進行上、協議事項2及び協議事項3を一括議題とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしと認め、協議事項2及び協議事項3を一括議題とします。

それでは、協議事項1「令和3年度国立市土地開発公社補正予算(第1号)案」を議題といたします。

当局から説明を求めます。事務局長。

それでは、協議事項1 令和3年度国立市土地開発公社補正予算（第1号）案について、説明させていただきます。

1ページをお開き願います。第2条、収益的支出予算の補正でございますが、33万4千円を減額し、予算の総額を1億9千349万6千円とするものでございます。

続きまして、2ページの第1表におきまして、支出の内訳をお示ししておりますが、詳細につきまして、5ページの補正明細書で説明いたしますので、5ページへお進みください。収益的支出ですが、決算見込みによりまして、款1事業原価で2万円減額、款2販売費および一般管理費で21万4千円減額、および款4予備費で10万円を減額してございます。支出合計といたしまして、33万4千円減額、補正後の予算額1億9千349万6千円としてございます。

次に、7ページの令和3年度国立市土地開発公社資金計画変更でございますが、予算の補正に伴い資金計画を変更したもので、変更後の金額は受入資金が2億554万6千円、支払資金が1億9千442万8千円となり、差し引き1千111万8千円を、令和4年度への予定繰越金とするものでございます。

8ページへお進みください。令和3年度国立市土地開発公社予定損益計算書でございます。1の事業収益から2の事業原価を差し引いた額が事業総損失となり、事業総損失から3の販売費及び一般管理費を差し引いた額が事業損失の39万3千円となります。この事業損失に4の事業外収益を加え、5の事業外費用を差し引いた額が、経常損失の39万円となり、これが当期純損失39万円となるものでございます。

最後に、9ページの令和3年度国立市土地開発公社予定貸借対照表でございます。表左側の上段、資産の部でございますが、1の流動資産は現金及び預金と公有用地で、合計2億5千591万9千円としてございます。

2の固定資産は、投資その他の資産で、合計800万円でございます。最終行の資産合計は、2億6千391万9千円となるものでございます。

次に、表右側の上段、負債の部でございますが、長期借入金により、合計2億4千260万円としてございます。表右側の下段、純資産の部でございますが、資本財産800万円と準備金合計1千331万9千円の合計で、2千131万9千円としてございます。表右側の最終行、負

債・純資産合計が、表左側の資産合計と同額の、2億6千391万9千円となるものでございます。

令和3年度国立市土地開発公社補正予算（第1号）案の説明は以上となります。よろしくご協議くださいますよう、お願い申し上げます。

議長 （石井伸之君）

説明が終わりました。  
それでは、ご質疑、ご意見を承ります。

（「なし」との声あり。）

議長 （石井伸之君）

なければ、これで協議事項1については終了することとし、引き続き協議事項2「令和4年度国立市土地開発公社事業計画案」及び協議事項3「令和4年度国立市土地開発公社予算案」を議題といたします。

それでは、説明を求めます。事務局長。

事務局長 （立川浩平君）

まず、協議事項2 令和4年度国立市土地開発公社事業計画案をご説明いたします。資料をお開き願います。用地取得事業は、保有土地の管理事業経費として12万円を計上してございます。以上が、協議事項2の事業計画案でございます。

続きまして、協議事項3、令和4年度国立市土地開発公社予算案について、説明させていただきます。1ページをお開き願います。第2条、収益的収入及び支出の予算額は、収入合計を3千円、支出合計を72万6千円とするものでございます。2ページの第3条、資本的収入及び支出の予算額は、収入合計を0円、支出合計を100万円とするものでございます。

予算の詳細につきましては、5ページからの予算説明書で説明いたしますので、5ページへお進みください。収益的収入の、款2事業外収益は、受取利息と雑収益を見込み3千円としており、収入合計を3千円としてございます。6ページ、収益的支出の、款1事業原価は、需用費などの経費といたしまして12万円を計上し、7ページの款2販売費及び

一般管理費は、監事及び評議員の報酬として39万8千円、需用費等の経費として10万8千円の、50万6千円を計上しており、款4予備費を含めた、支出合計を72万6千円としてございます。

次に、8ページの資本的収入は、0円とし、9ページの資本的支出は、項5予備費で、支出合計を100万円としてございます。

次に、10ページの令和4年度国立市土地開発公社資金計画でございますが、受入資金を1千112万1千円、支払資金を172万6千円とし、差引額を939万5千円としてございます。

次に、11ページの令和4年度国立市土地開発公社予定損益計算書でございます。1の事業収益から2の事業原価を差し引いた額が事業総損失となり、事業総損失から3の販売費及び一般管理費を差し引いた額が事業損失の62万6千円となります。この事業損失に4の事業外収益を加え、5の事業外費用を差し引いた額が、経常損失の62万3千円となり、経常損失から6の予備費を差し引いた額が、当期純損失で72万3千円となるものでございます。

最後に、12ページの令和4年度国立市土地開発公社予定貸借対照表でございます。表左側の上段、資産の部でございますが、1の流動資産は現金及び預金と公有用地で、合計2億5千519万6千円としてございます。2の固定資産は、投資その他の資産で合計800万円でございます。最終行の資産合計は、2億6千319万6千円となるものでございます。

次に、表右側の上段、負債の部でございますが、長期借入金により、合計2億4千260万円としてございます。表右側の下段、純資産の部でございますが、資本財産800万円と準備金合計1千259万6千円の合計で、2千59万6千円としてございます。表右側の最終行、負債・純資産合計が、表左側の資産合計と同額の2億6千319万6千円となるものでございます。

令和4年度国立市土地開発公社予算案の説明は以上となります。

なお、協議事項に関する説明資料といたしまして、「令和3年度末」および「令和4年度末」予定の「公有用地明細表」をあわせて提出しております。

協議事項2及び3につきまして、よろしくご協議くださいますよう、

お願い申し上げます。

議 長 (石 井 伸 之 君)

説明が終わりました。

それでは、協議事項2及び協議事項3について、一括して、ご質疑、ご意見を承ります。

評 議 員 (香 西 貴 弘 君)

令和4年度国立市土地開発公社予定貸借対照表について、令和3年度のものと比較したときに、資産の部において、公有用地額が100万円増えているがこの差はなぜ生じるのでしょうか。

事務局 長 (立 川 浩 平 君)

令和3年度の公有用地決算額に、令和4年度当初予算の予備費100万円を積んでいるためでございます。

評 議 員 (香 西 貴 弘 君)

分かりました。令和3年度は純資産の部、当期純資産が39万円となっております。令和4年度は72万3千円、この差はなにの影響を受けてのことでしょうか。

事務局 長 (立 川 浩 平 君)

令和4年度の純損失の主なものとしましては、評議員会の報酬4回分、監事報酬2回分を予定しております。令和3年度は評議員会2回のみなので、減額補正に伴う差でございます。

評 議 員 (香 西 貴 弘 君)

評議員会において、新たな議題がでることは想定されておりますか。

事務局 長 (立 川 浩 平 君)

現段階では市からの買戻しの予定は聞いておりませんが、事務レベルでは可能性があるということを聞いております。



議 長 (関 口 博 君)

資料ナンバー1、都市計画道路3・4・8号線用地は市の保有している公有地と認識してよろしいでしょうか。

事務局長 (立 川 浩 平 君)

国立市土地開発公社が保有している用地でございます。

評 議 員 (関 口 博 君)

都市計画道路3・4・8号線用地も、令和4年度国立市土地開発公社予定貸借対照表の資産の部、公有用地2億4千580万1千円と連動していると考えてよろしいでしょうか。

事務局長 (立 川 浩 平 君)

主なものは保有している用地の簿価でございます。令和3年度との金額の差は、予備費を積み上げているものでございます。過年度の予備費も積み上げてきた結果の額となります。

評 議 員 (関 口 博 君)

予備費を公有用地として計上することは、正しいやり方なのでしょうか。

事務局長 (立 川 浩 平 君)

公営企業会計のやり方として、正しいと確認しております。

評 議 員 (関 口 博 君)

都市計画道路3・4・8号線用地の売却予定はあるのでしょうか。

事務局長 (立 川 浩 平 君)

現時点において、市のほうからは、令和4年3月に事業認可を取得したと聞いております。このことに基づきまして、市からは令和5年度から令和8年度に用地買収を予定していると聞いております。その間で市に買戻してもらおう予定を考えております。

評 議 員 (関 口 博 君)

八王子道全線、市の買収は終わったのでしょうか。

事 務 局 長 (立 川 浩 平 君)

まだ完了はしていないと聞いております。

評 議 員 (関 口 博 君)

市からの購入依頼や、予定はないということによろしいでしょうか。

事 務 局 長 (立 川 浩 平 君)

八王子道の整備については、60パーセント強の進捗と市より聞いております。残りの用地の取得に伴う市からの依頼は、必要に応じてあるかと思われま

議 長 (石 井 伸 之 君)

ほかに、よろしいでしょうか。

なければ、協議事項2および協議事項3について、終了することといたします。

これをもちまして、全日程が終了いたしました。

以上で、令和4年第1回国立市土地開発公社評議員会を閉会いたします。

午前10時25分閉会